



# 学校だより 青い鳥

平成30年度11月号  
さいたま市立上落合小学校  
平成30年11月1日作成

さいたま市中央区上落合4-14-24 TEL 852-5381  
<http://kamiochiai-e.saitama-city.ed.jp/> E-mail:kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp



## ものを大切に使う

校長 藤澤 太郎

この秋は、季節の移り変わりについていけるように感じます。例年は、昨日Tシャツ今日セーターのようなどころがあって、寒さに驚いている自分に驚いたりしていたような、、、ここ数年からすると緩やかに秋が深まっているようです。

おかげさまで、秋の行事を順調に実施させていただいております。その成果は、学年や行事に応じて実り多しと聞いております。修学旅行では、初めて会った外の人に元気よくあいさつする姿が多く見られました。また、全体に、去年の館岩からすると態度や考え方がしっかりしてきて、旅行を楽しもうとする気持ちにあふれていました。見ているこちらはたいへん幸せな気分になりました。

今月はものを大切に使う話です。コンビニでは、レジ袋の有料化が検討され、スーパーではエコバッグを持ち込むのが当たり前になってきました。何でも消費する文化から脱して、リサイクルをして資源を大切にすることは、大切な価値として教科書にも載っています。この辺の考え方・風潮については、最近また急に進んでいるように思います。「使えるものは最後まで（大切に）使う」ということです。例えば生活家電では、製品のメンテナンス（掃除）がしやすいように、（ユニバーサルデザインにしたがって）全バラができる製品が出始めている感があります。先日購入したトースターは掃除がしやすい構造になっていました。メーカー側に見れば、長く使われると困る事情もあると考えますが、良いことだと素直に喜んでいきます。

子どものお気に入りの（大切にしたい）ものは何でしょうか？ それはランドセルであり、筆箱であり、家にある趣味のものかもしれません。お気に入りの服ということもあと思います。先生方は毎日おまじないのように、「ものを大切に使いましょう」と言っています。この前提で、子どもたちの意識はどこにあるのでしょうか？ 心との連動、経済性、利便性、エコの見地等、様々考えられます。子どもは、これらのどこかを行ったり来たりしながら、自分に合ったより良い考え方を見つけていくのだと思いますし、大切に使うことの意味を知るはずと先になってからではないかとも考えています。大人はどうでしょうか？ ものを大切にするという考え方は、少しカッコ良く言うと「人に見せてはいけないものを守る」ということでしょうか？ 見せてはいけないものとは、「何を大切にしているか」ということとも考えられます。ところで、ものに心は宿りません。磨いて光るのは、持ち主の心なのか？ ととも考えるところです。（おそまつ様でした、、）

まとめますと、ものを大切に使う気持ち（心）を持つことはとても大切なことで、はじめは、エコや経済的な意味合い（捉え方）から入り、こうした姿勢がベースとなり、例えばモラルやスタイルなど、抽象的な概念や言動等への比重が増すなどして、自分とものとのかかわりが整理されるようになるということでしょうか、、、そう言えば、拙宅の屋根裏に小さいときに大切にしていた釣り竿と毛鉤が捨てられずに置いてあります。これを見ていつも思い出すのは父と行った溪流の情景です。肝心の岩魚や山女魚のことはあまり覚えていません。父の笑顔とせせらぎの音や川のうねりが鮮明に思い出されます。大切にしていたのは、確かにもの（道具）でしたけれど、いつの間にか大切な思い出に代っていたという話です。

朝晩、徐々に寒くなるようです。身体をならしながら2学期を楽しむ気持ちで、勉強に行事に頑張っていきましょう。

## 学校教育目標

あかるく なかよく たくましく